



報道発表資料の配付日時 3月24日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	北海道消防防災ヘリコプター共同運航出発式の開催について
概要	<p>本年4月1日から、道の消防防災ヘリコプター(防災ヘリ)の北海道警察との共同運航体制を開始するに当たり、次のとおり出発式を行います。 <u>緊急運航対応により行事の全部又は一部を中止する場合があります。</u></p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和4年4月1日(金) 午前9時30分～10時30分 2 場所 北海道防災航空室格納庫 (札幌市東区栄町964※陸上自衛隊丘珠駐屯地内) 3 出席者 [道側] 防災航空室長、防災航空隊員(道が併任した道警察職員及び市町村職員) [道警側] 道警察航空隊長 4 内容 防災航空室長訓示、道警察航空隊長からの激励 防災航空隊長決意表明、集合写真撮影 ※式典終了後、共同運航初フライトを予定(撮影可能) (天候によりフライトできない場合があります)</p>
参考	防災ヘリの共同運航の概要は別紙のとおり。

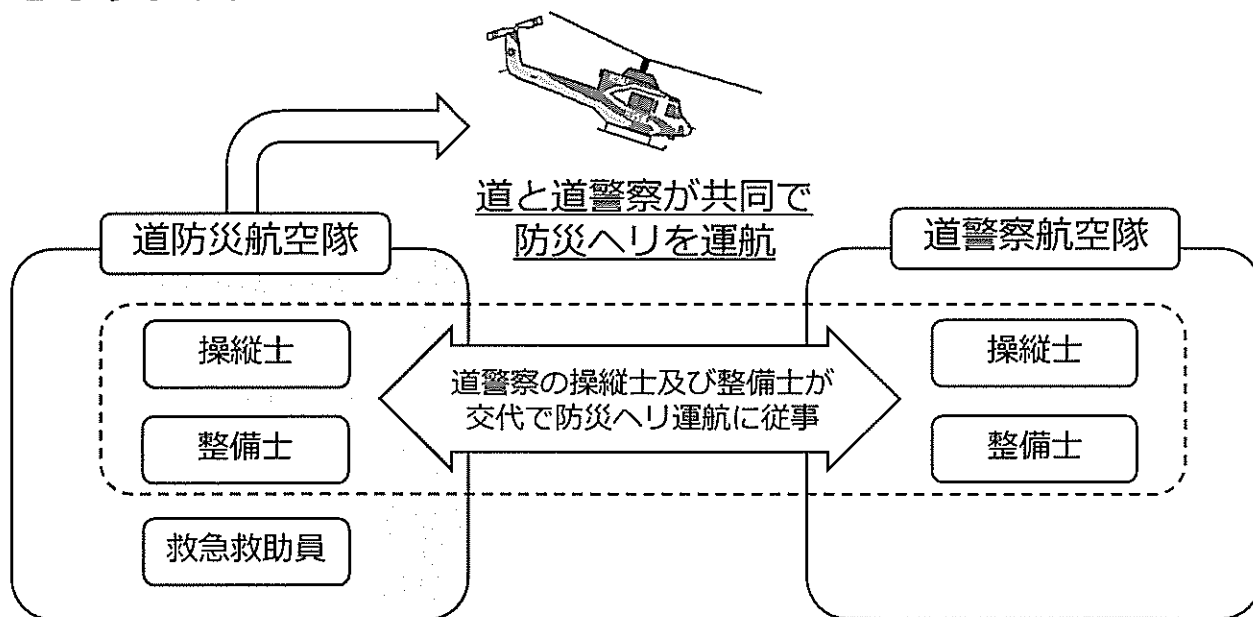
報道(取材)に当たってのお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>陸上自衛隊丘珠駐屯地内の撮影を行うことはできません(防災航空室格納庫における行事の撮影は可。この際に背景に駐屯地の一部や滑走路が写り込むのは可)。</u> ・取材に当たっては事前登録が必要です。 <u>取材を希望される方は、3月28日(月)午後5時までに、別添様式によりお申し込みください。</u> ・取材スペースが限られているため、新聞社については各社1名、テレビ局については各局3名(記者、カメラマン、助手)までとさせていただきます。 ・取材当日、駐屯地内に入るために受付が必要です。 <u>4月1日(金)午前9時10分までに、陸上自衛隊丘珠駐屯地で身分証明書を提示の上受付し、所定の場所に集合してください【時間厳守】。</u> ※駐屯地の指示により、駐屯地内の通行は防災航空室職員が同行します。 ・取材位置などについては、職員の指示に従っていただきますよう、御協力をお願いいたします。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取材は最小限の人数としていただくとともに、検温、手指消毒、マスクの着用にご協力をお願いいたします。
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク

担当 (連絡先)	<p>総務部危機対策局危機対策課防災航空室 (担当者:樋口)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-782-3233</p> <p>内線 39-897</p>
-------------	--

令和4年4月1日より 北海道消防防災ヘリコプターの運航体制が変わります

新たな運航体制のポイント

- ◆ 北海道消防防災ヘリコプター（防災ヘリ）は、本年4月より、従来の委託運航から、**北海道警察との共同運航体制に移行**します。
（下記イメージのとおり）
- ◆ これに合わせて、平成26年度から中断していた**24時間運航体制を再開**するほか、**二人操縦士体制の導入**など、より安全な運航体制となります。



※救急救助員は道内消防機関から派遣

4月からの運航時間

- ◆ 救急活動や救助活動などの緊急運航は、**原則として、災害現場における活動可能時間（日の出から日没まで）を考慮して対応**します。
（勤務時間外（午後5時30分～翌午前8時45分）は呼集体制）
- ◆ **ただし、次の場合はこの時間帯にかかわらず対応**します。
 - ・ **転院搬送※を行う場合**
 - ・ **その他、運航責任者（防災航空室長）が必要と認める場合**

※転院搬送：医療機関において治療中の患者を、緊急に高次・専門医療機関に搬送する活動
【出動の条件】

医師が当該傷病者について、緊急に他の高次・専門医療機関へ搬送しなければ生命に危険が及ぶと認める場合、又は緊急に搬送することにより後遺症の軽減など機能予後の改善が期待できると認める場合で、防災ヘリによる搬送が最も有効であり、かつ、医師が搭乗できる場合

～天候、他事案出動中、機体整備等により対応できない場合がありますのでご了承ください～